

## 令和4年沼津市教育委員会 第5回定例会会議録

1 日 時 令和4年5月17日(火)  
午後2時53分～午後3時25分

2 場 所 沼津市戸田地区センター 第3、4会議室

### 3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名(土屋委員 佐藤委員)
- (3) 教育長報告
- (4) 議案  
なし
- (5) 協議事項  
なし
- (6) その他  
沼津市教育委員会事務点検・評価について
- (7) 報告事項  
報告事項1 戸田小中一貫学校渡り廊下建設工事について

### 4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、  
委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育企画課長 原将史、学校管理課長 望月浩司、  
調整担当・教育企画課長補佐 内村一徳、教育企画課指導主事 栗原克弥、  
教育企画課指導主事 松岡ミュキ、教育企画課指導主事 岩本智明、教育企画課主任 藁科奏

### 5 会議内容

#### (1) 開会

奥村教育長が午後2時53分開会を宣言する。

奥村教育長 5月も半ばを過ぎ、ツツジやシャクナゲの花に魅せられる季節となった。暦の上では夏だが、富士山は先日の雨で再び雪化粧した。本日は生憎の天気で、戸田からの富士山が見られず残念であった。しかし、先程の視察は、まさに百聞は一見に如かずという言葉どおりであり、自分の足で赴き、専門家の説明を受けながら自分の目で見ることで本当に心が弾んだ。時間が過ぎるのが非常に惜しく感じられたが、それだけにまたすぐに戸田に訪れたいという気持ちになった。

本日の午前中、市教委主催の第1回教頭会が行われたが、教頭先生方に次のような話をした。この3月、10人の校長が定年退職し、校長会組織は約40%、教頭会組織は約25%が入れ替わった。ベテラン校長が多数抜けた人事により、各学校では安定した経営や運営に少なからず影響が出ることは否めない。その意味でも、鍵を握るのは教頭先生方の姿勢にある。管理職の大量退職に加え、教育を取り巻く環境が年々速度を上げながら変化していることを踏まえると、教頭先生方にはより一層の主体性が求められる。学校運営の核として、校長の経営方針を具現化

する実践力や、諸課題への迅速な対応に必要な情報を収集しながら、課題解決に向けたよりよい方策を判断する力を是非身に付けてほしい。教頭先生方の多くはいずれ校長になる。しかし、突然マネジメント力や判断力が身に付くわけではないので、現在の状況が教頭先生方にとってもチャンスであると伝えた。今回が初顔合わせであるため対面での開催を計画していたが、ゴールデンウイーク明けの新型コロナウイルスの感染状況を想定し、リモート開催とした。現在、市内の新規感染者数は増減を繰り返しているが、各学校においては現時点では学級閉鎖はない。一部の学校で少数の新規感染者が出ているが、全体としては非常に落ち着いた状況になりつつある。しかし、予断は許せない。中学校では、修学旅行が始まっており、小学校ではこれから運動会を予定している学校が非常に多い。私達もこれまで健康管理には十分気をつけてきたが、気を緩めることなく、引き続き感染予防対策を徹底し生活していきましょう。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に土屋委員、佐藤委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育長報告

奥村教育長 こいのぼりフェスティバルについては、前回の定例会でも生涯学習課から報告があったが、4月29日から5月5日までの7日間開催した。今年は、約5,500人が来場した。昨年は約3,600人であり、かなり増加した。初日の午後は雨が降り、その重みの影響か、こいのぼり2匹が落下したと報告を受けた。2日目の午前中は、かなり風が強かったので私も現地に赴いたが、こいのぼりは力強くなびいていた。3日目の5月1日も雨天で行楽日和とはならなかったが、開催期間中、1日平均約1,000人が訪れ賑わいを見せたということである。

5月8日には、第40回沼津茶会の式典に参加した。完全事前予約制で、御用邸記念公園にて開催され、佐藤教育委員も一緒に参加した。40年前の第1回沼津茶会も今回と同じく5月8日に行われ、さらにこの日は本年2月に亡くなられた沼津茶道連盟前会長池田宗博氏の88歳の誕生日にあたる日でもあったと伺っている。今年は40周年であり、沼津市制100周年のイベントとして記念式典も行った。風も収まり少し汗ばむほどの晴天の中、加藤学園暁秀中学校・高等学校の生徒による素敵な箏曲演奏も行われ、ゴールデンウイーク最終日に心安らぐ一日を過ごせた。

5月14日(土)には、市立図書館で行われた芥川賞作家宇佐見りんさんの3作目となる『くるまの娘』の寄贈式に出席した。御承知のとおり、宇佐見りんさんは昨年1月に2作目の『推し、燃ゆ』で第164回芥川賞を受賞しており、私は、当時大学3年生であった宇佐見さんと対談を行った。彼女は沼津市出身である。2歳まで沼津で過ごした後、神奈川県に転居したが、夏休みやお正月には母方の祖父母が生活するここ沼津を頻りに訪れていた小説家である。芥川賞受賞の際、多くの沼津市民から応援やお祝いのメッセージをもらったことへの感謝の気持ちから、宇佐見りんさん本人が市立図書館に訪れ、5月12日に出版された『くるまの

娘』を寄贈した。その様子の取材に、NHKやSBS、静岡朝日テレビなど報道各社が駆けつけたので、ニュースや新聞で御覧になった方もいると思う。1作目、2作目とは全く違うテーマを取り上げた3作目も、素人の私でも音や光、匂いなどの描写が大変素晴らしいと感じた。読み返さないとわからないような少し難しいところもあるが、それだけ濃い内容である。家族のいろいろなしがらみの中で物語が展開するので、是非3作目も読んでいただきたいと思う。市立図書館に20冊寄贈してもらい、予約を受け付けている。

5月15日(日)には、プラサヴェルデで行われた江原素六先生の生誕180周年・没後100周年記念式典に参加した。江戸で生まれ育ち、幕臣として出世した江原素六先生は、幕末の動乱期をくぐり抜けてたどり着いた沼津の地を第二の故郷として数々の業績を残した。私は開式の言葉を述べさせてもらい、その中で江原素六先生が、教育において近代日本の学制や兵制の確立に大きな役割を果たした沼津兵学校の創立を始め、現在の沼津市立第一小学校の前身である集成舎や、県立沼津西高等学校の前身である駿東高等女学校の開設に尽力した本市の誇るべき教育者であること、金岡小学校を中心に6つの小学校では、現在「江原学習」に取り組んでおり、今年で22年目を迎えることを伝えた。また、素六先生が抱いた大きな志は、100年の時が経過した今も、未来を担う沼津の子供たちに「貴き志」として、脈々と受け継がれていると締め括らせてもらった。この記念式典の後には、記念事業の一環として沼津駅北口に設置された台座を含めると約4メートルになる素六先生の銅像の除幕式が行われた。駿河台に1体、明治資料館にも胸像があり、これが3体目となる。これからも沼津の教育の発展に尽力して参りますと、素六先生の銅像の前で手を合わせてきた。教育長報告は以上とする。

<議案>

奥村教育長 日程(4)議案ですが、本日は案件なし。

<協議>

奥村教育長 日程(5)協議事項は、本日は案件なし。

<その他>

奥村教育長 日程(6)その他である。

沼津市教育委員会事務点検・評価について

<教育委員会関係各課の自己評価に対し、有識者から成る評価委員会が意見を加える形で、事務の管理及び執行の状況についての点検・評価を行う。令和3年度分からは、新たな「沼津市教育基本構想」に基づく「沼津市教育基本構想実施計画(令和3～7年度)」に基づき各事業を実施しているため、対象事業を変更するとともに、方法等を見直し、各課が選定した主要事業に重点をおいて行う。>

(教育企画課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。

平成20年度以降、毎年事務点検・評価を行っている。皆さんにも提示している資料が、厚い冊子となり、まとめるだけで大変だとのお言葉をいただいた。また、本来の目的はPDCAサイクルに生かすことだが、評価することに終始しており、そちらにもう少し力を入れられるとよいという御意見を承った。教育企画課長の説明のとおり、13事業の重点化に加え、その他の事業からさらに13事業を重点化し、26事業に絞る。加えて各事業の進捗管理に使用している管理表を活用し、効率的に進めるという説明であった。

本件に対する御質問、御意見はいかがか。

川口委員 今までは各課の全事業を全て評価していた。それをスリム化し、重点化することでより分かりやすくなる。仕事を見えやすくし、業務の効率化にもつながる非常によい取組である。

土屋委員 年々事務点検・評価の資料が分厚く内容が細かくなり、作成が大変だと思っていた。ここで大きく方向性を変え、より分かりやすく、先につながる事務点検・評価になればと期待している。

奥村教育長 実際に行う中でいろいろな課題が顕在化するかもしれないが、PDCAサイクルのチェック（評価）からアクション（改善）にしっかりとつなげたいと思っている。

ほかはないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

---

報告事項1については公表前の事項が含まれているため当日は非公開としたが、公開できることとなったため公開する。

<報告>

奥村教育長 日程（7）報告事項である。

報告事項1 戸田小中一貫学校渡り廊下建設工事について

<令和3年度に旧戸田中学校校舎を解体したことにより、小中一貫学校校舎から屋内運動場までの通路がなくなっているため、新たに渡り廊下を建設する。平成30年度から実施してきた戸田小中一貫学校に係る整備事業については、本工事をもって全て完了となる。>

(学校管理課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。整備イメージとして第四小学校の渡り廊下の様子を提示している。

本件に対する御質問、御意見はあるか。

重光委員 渡り廊下の通行は、土足に履き替えるのか、それとも中履きのまま移動するのか。

学校管理課長 中履きのまま移動する形で考えている。

重光委員 四小は、渡り廊下を横切り校庭に行けるようになっているため、間が途切れているところがある。中履きで移動すると履物が汚れ、校舎も汚れてしまうこともあると思う。戸田小中一貫学校は、教室等も改修されたばかりなので、

きれいなまま使用できるように、渡り廊下を中履きで移動しても体育館や校舎が汚れない構造にしてほしい。

奥村教育長 学校の管理課長  
そのあたりの対策は何かあるか。

奥村教育長 学校の管理課長  
渡り廊下が長いので台風で汚れることも考えられる。定期的な清掃と合わせて、マットを敷くなどの出入りの際の対策等を含め、今後学校側と協議していきたいと考えている。

奥村教育長 学校の管理課長  
渡り廊下の両サイドは、横断ができないように全て塞がっているのか。

奥村教育長 学校の管理課長  
中央に緊急車両進入口を設け、出入り口を確保する予定である。

奥村教育長 学校の管理課長  
緊急時のみで、通常は使用しないのか。

奥村教育長 学校の管理課長  
そのとおりである。

奥村教育長 学校の管理課長  
人が歩いて横断できる状態になるのか。

奥村教育長 学校の管理課長  
外履きで横断できるようにし、緊急時に車両が通れるようにする。

川口委員 学校の管理課長  
すのこを敷いたらどうか。

奥村教育長 学校の管理課長  
そのような対策を検討する。通常はほぼ使用しないが、緊急時には速やかに使用できるようにしたいと思う。

奥村教育長 学校の管理課長  
工期はどのぐらいか。

奥村教育長 学校の管理課長  
約5か月である。8月に入札、1月に完成を予定している。中学校校舎の解体工事をして土を埋め戻した関係上、土が安定するまで少し時間を置くこととし、約半年時間を置いて着工するため8月を見込んでいます。

奥村教育長 学校の管理課長  
この工事により、運動場の使用、活用範囲、安全面で、どのような影響があると想定しているのか。

奥村教育長 学校の管理課長  
中学校の校舎が建っていたときよりも運動場は広がっているため、以前より広く活用できると考えている。

奥村教育長 佐藤委員  
工期の間は、子供たちの安全面を第一に考えてほしい。

奥村教育長 学校の管理課長  
渡り廊下建設工事の図を見ると、校舎から体育館へ行く間に給食センターがあり、給食センターの中を通るように見える。

奥村教育長 学校の管理課長  
給食センターの中は通らず、横を通る。動線を書き忘れており申し訳ない。ほかにはいかがか。

奥村教育長 学校の管理課長  
今回のことには直接関係はないが、戸田小中一貫学校が開校して1年が経つ中で、学校側から実際に1年間生活をして気付いたことや改修等の要望事項はあったか。

奥村教育長 学校の管理課長  
この1年間、特段学校から改修要望はない。改築後、そのまま使ってもらっている。

奥村教育長 学校の管理課長  
改築当初、壁がざらざらであり、子供たちが手で触ったときや顔が当たったときに危険である、あるいは壁にこすれたときジャージ等の化学繊維がほつれてしまう等の指摘があり、早急に直してもらった。

奥村教育長 学校の管理課長  
開校前に壁を改修した。まだ上部はそのままだが、子供たちが接触する部分は、平らなすべすべした手触りの壁に改修したため、学校側からの要望はない。

奥村教育長 学校の管理課長  
女子トイレが廊下側の近くにあり心配していたが、特に何もなかったか。

奥村教育長 学校の管理課長  
そのあたりの改修要望はない。今後学校長に確認し、改善すべき部分があれば対応していく。

奥村教育長

よろしく願います。

ほかにならないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

ほかになれば、本日の定例会を終了する。

午後 3 時 25 分 閉会